



成長可能性に関する説明資料

ベストセラ株式会社
コード番号 [1433]

目 次

会社概要	3
外部環境予測	11
成長戦略	15

会社概要	3
外部環境予測	11
成長戦略	15

1

つくった人には壊せない

私たちは、「壊すときには造ったときの逆をやればよい」という思い込みに『NO!』と言うことからスタートしました。建造のプロセスを単に逆にたどるのではなく、まったく新しい視点でプラント解体を発想する。そして、その発想を実際の工事を通じて検証をおこない、新たな技術・工法として確立し、更には特許工法という形で完成させてきました。

2

プラント解体に特化したオンリーワン企業

当社は約40年間、製鉄、電力、ガス、石油などの高い安全性と高度な技術力を必要とする鋼構造物のプラント解体工事に特化して、事業を展開してきました。プラント解体工事において、必須と言える特定化学物質、PCB、アスベスト、ダイオキシン、土壌汚染などの環境関連対策工事の実績を積み重ねています。

基幹産業である重厚長大なプラント解体のリーディングカンパニーとして、こうした社会的ニーズにお応えすることで、自らの責任を全うし、社会貢献に取り組んで参ります。

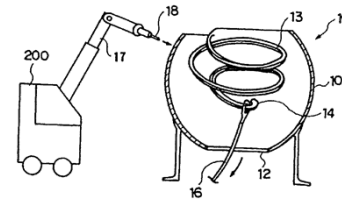
会社概要

商号	ベストセラ株式会社 / 日本語表記 BESTERRA CO.,LTD / 英語表記
事業内容	プラント解体工事、その他関連事業
所在地	本社：東京都墨田区江東橋四丁目24番3号 千葉事務所：千葉市中央区川崎町1番地 西日本事務所：広島県福山市南手城町三丁目10番27号
設立	1974年2月20日
資本金	91,920,000円(2015年7月31日現在)
代表取締役	吉野佳秀
従業員数	44名(2015年7月31日現在)

会社の沿革



- 2015年9月 東証マザーズ上場
- 2015年1月 プラント構造計測に特化した3D計測サービスに参入
- 2013年1月 人材不足に対応するため人材サービスに参入
- 2010年4月 ロボット解体「りんご☆スター」開発
- 2007年9月 火力発電所等の「ボイラの解体方法」の特許取得
- 2004年11月 特定建設業許可取得
- 2004年7月 「リンゴ皮むき工法」の特許取得
- 1974年2月 「ベストセラ株式会社」設立 一般建設業許可取得



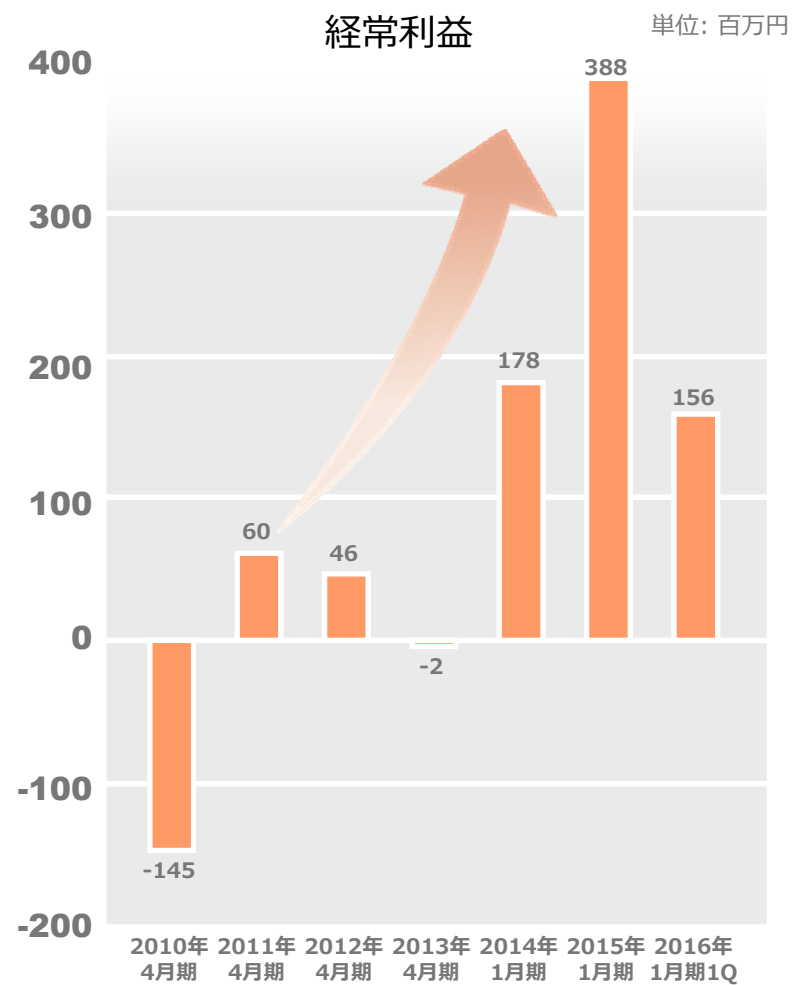
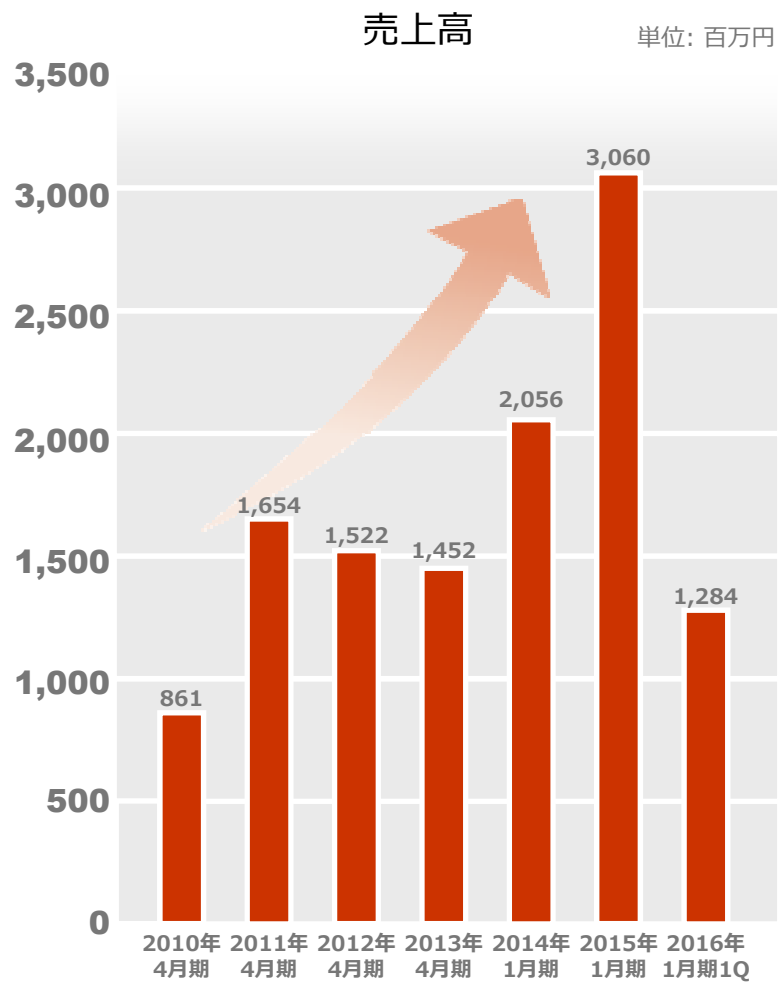
本社ビル



業績の推移

2014年1月期以降は売上高が急成長し、利益成長も加速するステージに入っています。

※ 2014年1月期は9カ月の数値



企業理念、行動規範

企業理念

柔軟な発想と創造性、それを活かした技術力により地球環境に貢献します。

行動規範

プロとしての責任を果たします。

我々は常に新しい技術を生み出し、「安全を何よりも優先」し、「より早く、より安く、より安全に」を合言葉に、さらに安心を加えて、お客様に提供します。



ガスホルダー(リンゴ皮むき工法)



火力発電所(リンゴ皮むき工法)

ビジネスモデル(事業系統図)

- 1** 大型プラント解体の要の役割
 エンジニアリング(提案・設計・施工計画)
 マネジメント(監督・施工管理)
- 2** 実際の解体工事は、外注先が行い、
 当社は主に現場の監督・施工管理を行います。
- 3** したがって、プラント解体の工法・技術を
 コア・コンピタンスとしています。
 (持たざる経営)
 工事用重機や工事部隊を保有しません。
 →資産保有リスクを回避
 材料などの仕入・生産取引は存在しません。
 →在庫リスクを回避



プラント解体トータルマネジメント

プラント解体の事前調査から解体、廃棄物処理までを一貫して行うプラント解体トータルマネジメントを行っています。

1	調査	・行政、自治体への法制対応
2	各種申請 解体見積	・独自の特許工法の提供 ・最適な工事設計 ・多様な工事に対する見積書の作成
3	工事施工	・施工管理：現場重視の戦略、当社従業員が常駐 ・最適分担：優良な協力会社と連携 ・最適分担：工事種類に応じた工事分担を決定
4	廃棄物処理 補修・改修工事	・情報網：産業廃棄物処理会社との連携 ・補修、改修工事のフォロープレゼン



顧

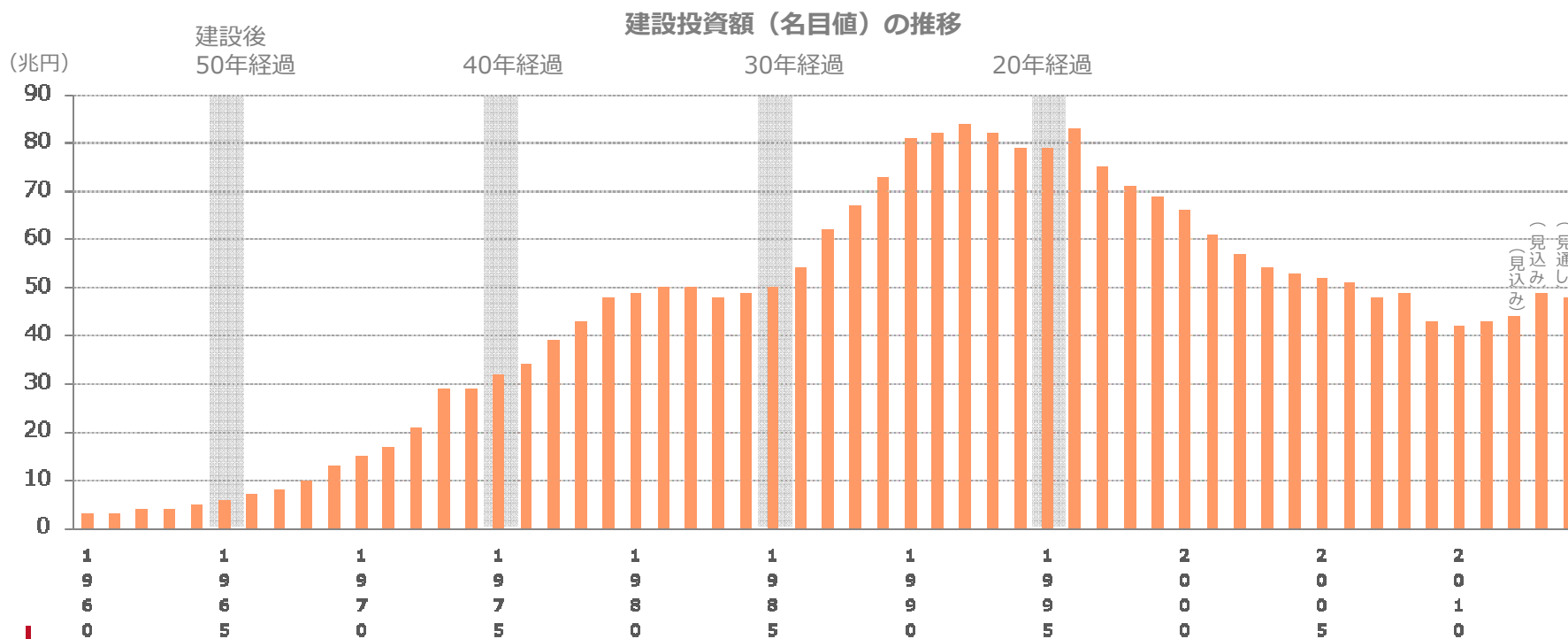
客

会社概要	3
外部環境予測	11
成長戦略	15

建設投資額の推移

新設工事が減少する中、プラント解体の市場規模は拡大すると考えられ、ますます当社の技術やノウハウを提供できる機会が増えていきます。

- 1960年代の高度成長期以降に建設されたプラントが急速に老朽化します
- 今後20年間で建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなります
- 企業の再編、海外移転等、リストラクチャリングにより余剰設備の廃棄が増加します



プラント解体事業のトピック

プラント業界を取り巻く外部環境の変化も当社の追い風になっております。

1

産業競争力強化法、エネルギー供給構造高度化法の施行（余剰設備の再編）

当社が得意とする工事分野の顧客、すなわち石油、ガス、電力、製鉄や素材産業のプラント設備再編が増加します。

プラント解体市場（特に当社の得意分野）の拡大

2

建設業の許可業種区分に「解体工事」新設

国土交通省は43年ぶりに許可業種区分を見直します。
「解体工事」は専門の業種となり、1件500万円以上の解体工事を実施する場合は許可取得が必要になります。

解体工事に求められる品質が高くなり、ますます当社の強みを活かすと予想されます

顧客業界動向

電力

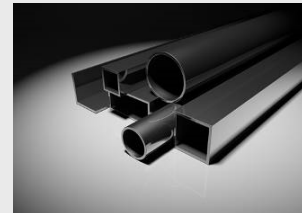


火力発電所の老朽化は顕著なものとなっています。さらに「環境問題」と「発電効率」の観点から、今後、火力発電所の解体は劇的に増加するものと考えられます。
(ボイラー、煙突、油タンクの解体増)

「**環境問題**」の観点からは、風力、水力発電等の解体需要も増加すると考えられます。

「**発電効率**」の観点からは、コージェネレーションや再生可能エネルギー等の利用が促進され、**発電設備のリプレイス**が増加するものと考えられます。

製鉄



製造業の海外移転に伴い、**合併や再編**の渦中にあります。「生産量の増強」から「**余剰設備の合理化**」に投資が変化しています。

石油・石化



省エネ化が進み、国内需要は減少、石油各社は精製能力を削減しています。

また、**エネルギー供給構造高度化法**による供給能力適正化が進められています。

ガス



球形ガスホルダーは、ガス発生量を細かく調整できるようになったこと、配管等が高圧に耐える品質になったことにより、**地下配管に移行**しています。

会社概要	3
外部環境予測	11
成長戦略	15

当社の強み

1

優良な顧客基盤

製鉄、電力、ガス、石油等の大手企業のエンジニアリング子会社を中心とした優良な顧客基盤を構築しています。

2

豊富な工事实績に基づく効率的解体マネジメント

約40年間のプラント解体工事实績に基づくプラント解体トータルマネジメントを提供しています。

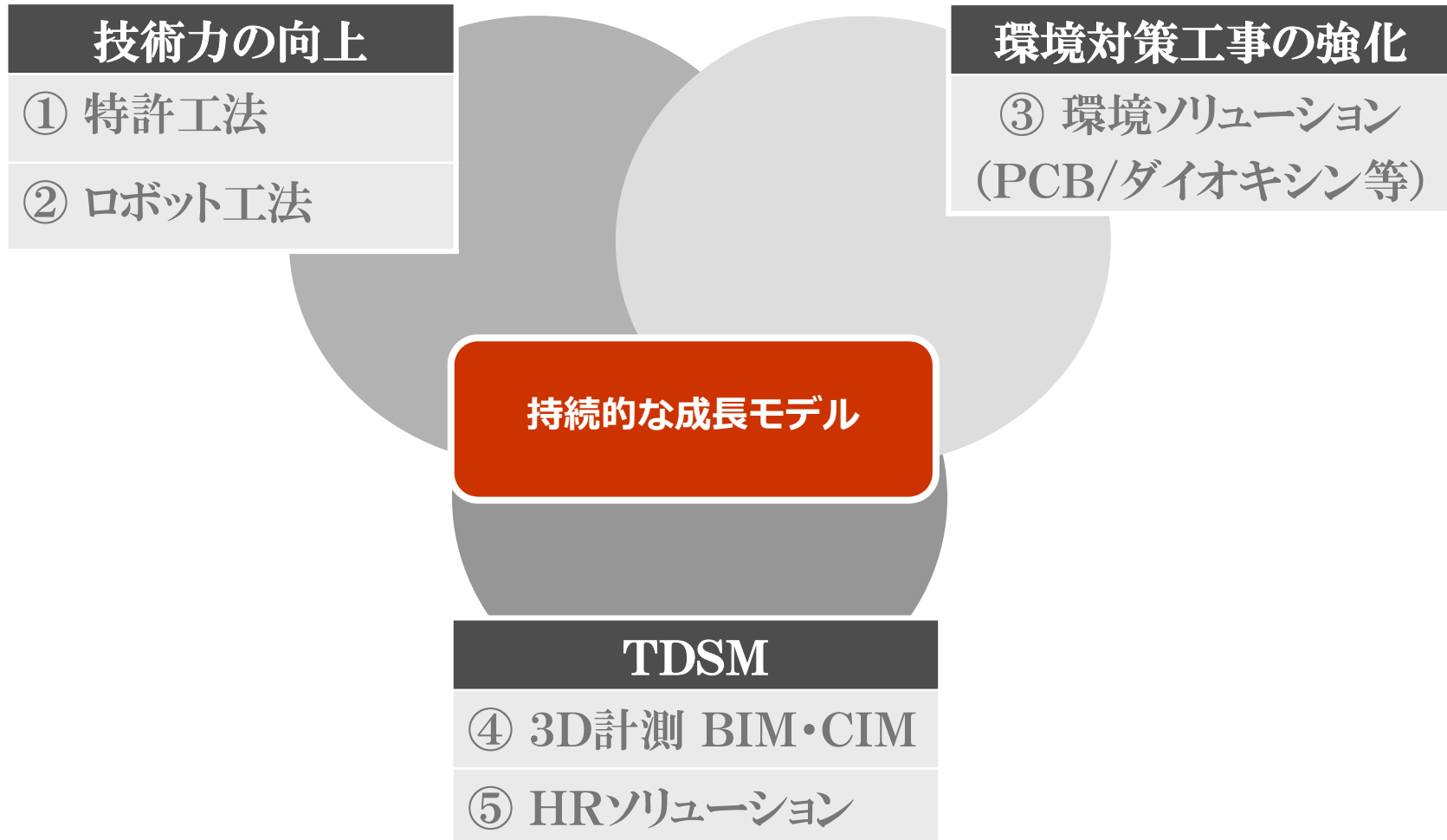
3

特許工法等の知的財産

環境対策工事等に根ざした様々な技術やノウハウは、顕在的または潜在的に知的財産としての強みを持っております。特筆すべき知的財産は、解体工事会社として他社に類のない数を保有する特許工法です(取得済14件、申請中5件)。また、発生材の再資源化に関する豊富な知識も有しています。

成長戦略：持続的な成長モデル

専門性の高い技術を提供し、事業競争力を高めていきます。

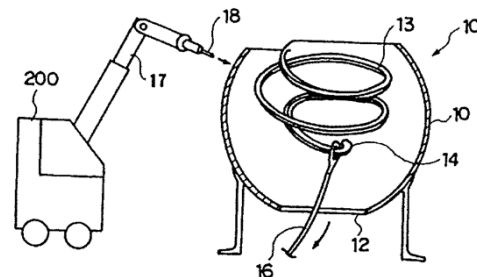


技術力の向上

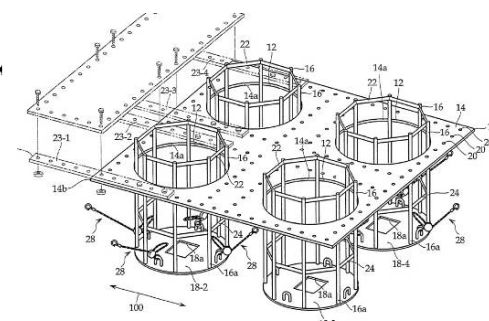
① 特許工法

特許工法を使用した解体方法を提案し、実用化に繋げていきます。

取得済み特許	申請中
大型球形貯槽の解体方法及びこれに用いるジャッキ機構	集合型煙突解体用足場装置およびその装置を用いた集合形煙突の解体方法 (国際出願)
大型球形貯槽の切断解体方法 (リンゴ皮むき工法) ※図1	大型貯槽の解体方法 (リンゴ皮むき工法の改良特許)
搭状構築物の解体工法及び装置	発電用風車の倒し方法 (国際出願)
煙突解体用足場装置及びその装置を用いた煙突解体方法 ※図2	Method for disassembling a boiler
ボイラの解体方法	
ボイラ及び支持構造物の解体方法	共同出願 申請中
熱風炉の蓄熱炉の倒し方法	磁気吸着車両の群移動体 (ロボット群龍)
鉄塔支持形煙突構造物の倒し方法	
ボイラ解体方法	
ボイラの解体方法	
大型貯槽の切断解体方法	
大型貯槽の解体方法	
ゴライアスクレーンの解体方法	
H鋼支持システム及びそれを用いた建造物の解体方法	



※図1 大型球形貯槽の切断解体方法 (リンゴ皮むき工法)



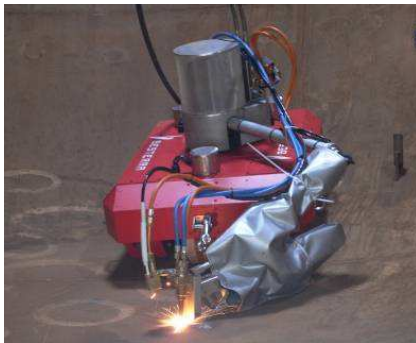
※図2 煙突解体用足場装置及びその装置を用いた煙突解体方法

技術力の向上

② ロボット工法

さらなる安全性向上のため、溶断ロボットを開発し、工事実績を重ねています。

- ・ 「りんご☆スター」の新アタッチメント開発による用途拡大
- ・ 東京工業大学との産学連携による「群龍」(群移動体型ロボット)の開発



りんご☆スター



群龍



環境対策工事の強化

③ 環境ソリューション

屋外屋内を問わず、**無火気工法・準無火気工法**を得意としています。切断、小切り施工可能です。

モーター焼きつき対策や刃を再生利用するなどの工夫で業界常識を超える厚みを切る事が可能となりました。



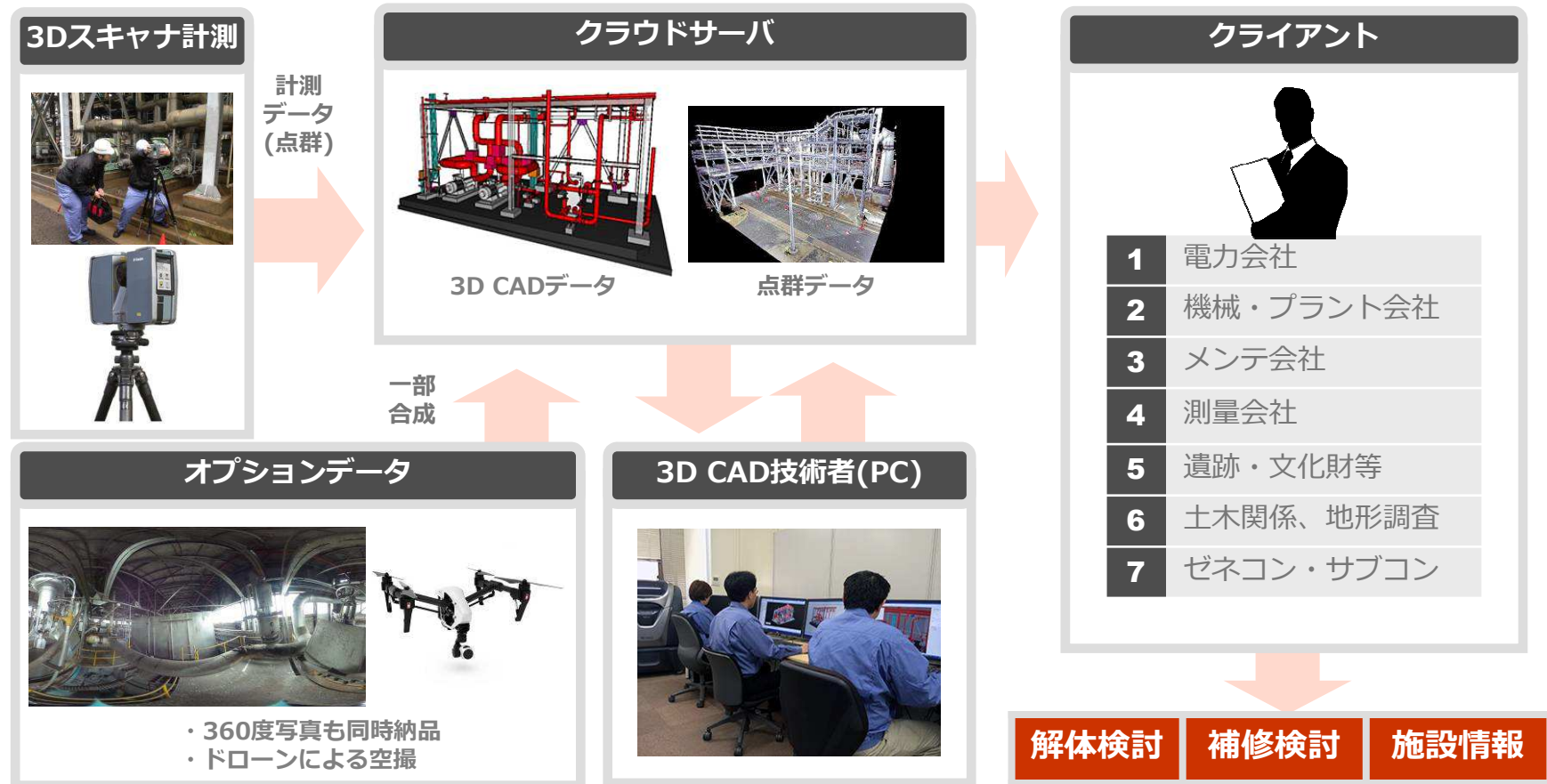
当社による分割・解体までの工程

<h3>1 現地確認</h3> <p>経験豊かなスタッフが、現地を確認・調査いたします。 ※狭小な場所・地下・管理された部屋など、あらゆる場所から撤去する方法を現地にて考察します。</p> 	<h3>2 計画・お見積もり</h3> <p>お客様のご要望を法令に沿って、弊社専門スタッフが検討し、的確なご提案・お見積もりをご提出いたします。</p> 	<h3>3 解体養生</h3> <p>必要に応じて「密閉化」などの措置を講じます。 ※法令順守かつ環境対策も同時に行います。</p> 
<h3>4 事前・付帯作業</h3> <ul style="list-style-type: none">油抜き遮断機ガス抜き (FS-6)閉所での吊治具仮設通路養生 etc 	<h3>5 分割・解体作業 (運搬用容器への封入作業)</h3> <p>弊社では一切の火気を使わない工法で迅速かつ安全に解体が行えます。</p> 	

トータルマネジメントの強化

④ 3D計測 BIM・CIM

新技術も積極導入することで、情報の「見える化」、「共有化」を推進。トータルマネジメントの強化へ繋げていきます。



トータルマネジメントの強化

⑤ HRソリューション

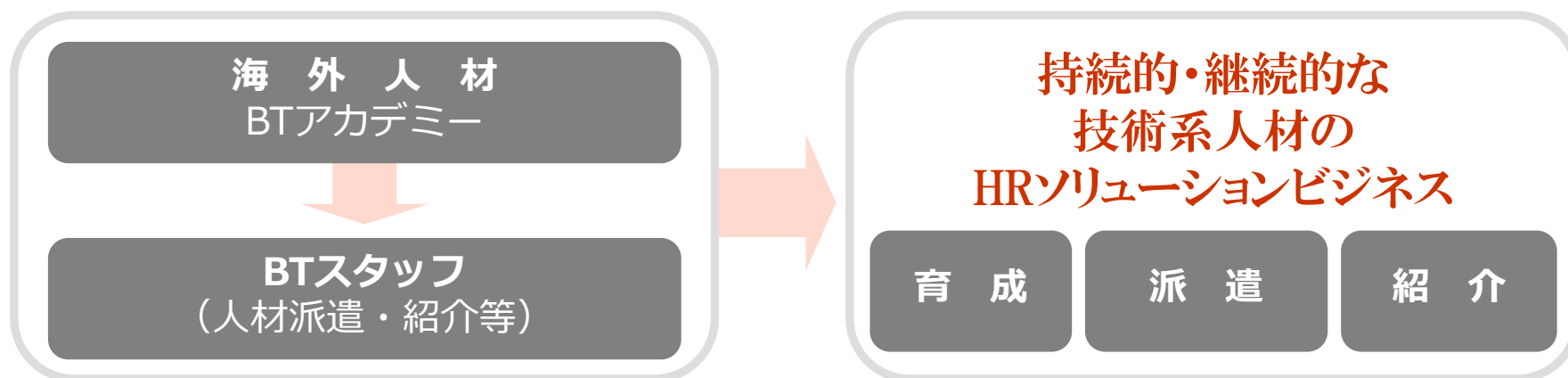
技術労働者不足に対応することを新たな事業機会と捉え、人材サービスを展開します。

背景

少子化、技術系人材の獲得難

ソリューション

- ① BTスタッフ：人材派遣・紹介及び紹介予定派遣
- ② 海外人材の活用：韓国の大学新卒者など
- ③ BTアカデミー：施工管理職の育成



3年後のビジネス領域

プラント解体周辺分野へのサービスを拡大し、プラント解体トータルマネジメントの強化を目指します。



BT STAFF

人材サービス



3D計測 BIM・CIM

上場目的

信用度・知名度の更なる獲得

当社はこれまで、独創的なアイデアによる特許工法など、技術とノウハウにより、プラント解体工事会社としての信頼を獲得してきました。上場により獲得する更なる信頼を事業拡大へ繋げるとともに、資金調達手段の多角化も図りたいと考えています。

優秀な人材の確保

優秀な人材の確保は、当社の成長において不可欠な要素です。優秀な人材が集まる上場企業として、成長可能性を追求して行きたいと考えています。

当社、解体業界のイメージ・社会的地位の向上

解体工事業界は、建設業の中でも労働環境や技術レベル等においてイメージが良いとは言えません。上場を果たすことで、当社が業界全体のイメージアップのさきがけになりたいと考えています。

本資料についてのご留意事項

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的とし、あくまでも当社のご理解を促進して頂くために作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願い致します。
- 本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、経済動向および市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、本資料に記載した情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、新しい情報が発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

